

2025年10月10日



たてくろジオパーク だより 第83号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: <https://tatekuro.jp/>

<https://facebook.com/tatekuro>

★ 第15回 日本ジオパーク全国大会 十勝岳大会が開催されました

第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会が9月27日（土）と9月28日（日）に美瑛町スポーツセンターや上富良野町社会教育総合センター等7か所を会場に開催されました。大会テーマは、「大地に学び、未来を育む」でした。立山黒部ジオパークからは、今堀事務局長を始め6名が参加しました。

初日は、開会式の後、佐治 晴夫氏（理論物理学者・理学博士）の基調講演「宇宙創生から未来へ～これからの地球と私たち～」があり、その後は分科会、交流会でした。特に分科会は「複数自治体で構成されるジオパークの課題検討」や「ジオパークだからできる海洋環境問題について」等のテーマで9つの分科会が開催され、各自参加し知見を深めました。

2日目は、口頭発表やポスターセッションコアタイム、パネルディスカッション、閉会式が行われました。口頭発表では、森内専門員が「持続可能な地域づくり」について下立地区の実践を「地域活性化へのアプローチ - サイト保護・

活用を通して -」というタイトルで口頭発表しました。また、王生企画部会員が「教育」のテーマで、「YKK AP が支援するハーバード大学のランドスケープ研究への協力について」というタイトルで YKK AP やハーバード大学と連携した実践をポスターで紹介しました。

様々な場で、各地域ジオパーク相互の情報・意見交換をすることができました。それをもとに、立山黒部ジオパークの一層の発展と向上につなげていきたいと思ひます。



壮大なスケールの基調講演



交流会の様子



森内専門員による口頭発表



王生企画部会員の発表ポスター



次回開催地の桜島・錦江湾ジオパークのアピール



各地の特産品がジオショップで販売された

立山黒部ジオパークからは株式会社ウーケの「ふんわりごはん」がジオショップで販売されました。

8月のジオパーク散歩から

8/30 ジオパーク散歩 in 岩嶺寺

立山町の岩嶺寺でのジオパーク散歩は「常願寺川扇状地での文化と歴史を訪ねる」というテーマのもと、ガイドの解説を聞きながら雄山神社前立社壇、多賀の宮、分水工、豊水橋などを巡りました。皆さん雄山神社の参拝経験があるようでしたが、多賀の宮より先にはあまり足を運ばれていないようでした。帰り道で参加者から「多賀の宮の先に何があるのかを、今回のジオパーク散歩で知ることができて良かった」とのお声をいただきました。

ようやく残暑も収まるかなという時期となりましたが、蟬のコーラスと川のせせらぎを楽しみながらの夏らしいジオパーク散歩となりました。



富山市民大学

9月の富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」は

第6回「ジオがあつての蜃気楼」

(講師：魚津埋没林博物館佐藤真樹主任学芸員)

第7回「富山の化石：楽しみ方から保全まで」

(講師：富山市科学博物館吉岡翼学芸員)

が開催されました。

佐藤講師は、生地海岸のライブカメラの映像や、水槽で異なる空気層を模した状態を作つての実験を、また吉岡講師は、ネット上の地層のデータベースをその場で参照したり、実物の化石標本に触れてもらうなど、臨場感溢れる講義に、受講生のみなさんは熱心に聞き入ったり質問したりしておられました。

(講座は残り3回、11月初旬まで)



水槽で蜃気楼を再現する佐藤主任学芸員

紐を使って年代のスケール感を説明する吉岡学芸員

9/7 ジオガイド養成講座

第9回の養成講座が、室堂・弥陀ヶ原でありました。講師は第7回講座もご担当いただいた富山県立山カルデラ砂防博物館の飯田学芸課長と丹保学芸課長補佐のお二方でした。

室堂では、前回の講座で学習したことを振り返りつつ、みくりが池、えんま台、ミドリガ池、玉殿の岩屋を巡りながら地形を観察しました。昼食後は弥陀ヶ原に向かい、石畳広場ではたくさんの石の中から溶結凝灰岩を探しました。

台風15号の影響や、雨で立山有料道路に通行規制がかかるなど、開催が危ぶまれる場面もありましたが、当日は天候に恵まれ、無事催行することができました。



9/20 下立地区住民向けツアー

立山黒部ジオパーク協会が黒部市から受託している下立地区ジオサイト保護・活用事業の一つとして、地区住民向けジオツアーを開催しました。

20名を超える大盛況の中、ジオサイトの下立の大埋石や森づくりの公園、おりたての霊水等を下立財産区の長谷川議長等から解説いただきました。最後は、公民館でクロモジ茶を振る舞っていただきました。住民の方は、改めて下立地区の良さを感じ取っておられたようです。



9/6 講演会・観察会

室堂平にある立山自然保護センターで、同センターとの連携事業「講演会・観察会」を開きました。

講師は、元南極越冬隊長で富山地方気象台リスクコミュニケーション推進官の木津 暢彦氏でした。「立山の空」というテーマで、気象現象がどのようにして起きるかや雲の種類等を話してくださいました。観察会では、気象観測を体験しましたが、台風一過で快晴となり、雲は2種類の観察にとどまりました。ただ、真剣に空を見上げる貴重な体験になったようです。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



10、11月のジオパーク散歩

*参加費 500 円



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しみませんか？

詳細は 協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。
参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAX または電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号
をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

※最小催行人数は4人です。申込締切日までに最少催行人数に達しない場合は中止します。

募集中！



最近のジオパーク散歩の様子



ジオパーク散歩 in 栗巣野

〈セラピーロードの先へ手取層を探しに行こう〉

【日 時】10月30日（木）10:00～11:45（受付9:45～）

【集合場所】山野スポーツセンター前駐車場

【見学場所】牛首川～百間滑～不動平・石臼平展望ポイント～牛石

【持 ち 物】履きなれたシューズ、雨具、飲み物

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】10月27日（月）定員10名先着順

ジオパーク散歩 in 魚津

〈海に山と川 湧き出す地下水、角川廻り〉

【日 時】11月1日（土）9:00～11:30（受付8:45～）

【集合場所】魚津埋没林博物館

【見学場所】魚津埋没林博物館から角川までの海岸線往復

【持 ち 物】飲み物、雨具など

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】10月29日（水）定員10名先着順

ジオパーク散歩 in 上滝

〈常願寺川の扇頂に位置する「立山橋」はなぜ朱塗高欄付き？〉

【日 時】11月4日（火）9:30～12:00（受付9:15～）

【集合場所】大山会館 駐車場

【見学場所】立山街道、始水石、橋観音堂、常西水神社、常願寺川と立山橋など

【持 ち 物】飲み物、雨具など

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】10月30日（木）定員10名先着順

ジオパーク散歩 in 富岩運河

〈富山駅北のシンボル 富岩運河はどのようにして造られたか〉

【日 時】11月14日（金）10:00～12:30（受付9:45～）

【集合場所】富山市役所 南側広場

【見学場所】旧神通川常夜灯～旧神通川河川跡～環水公園～中島閘門（閘門の開閉を見学）～環水公園

【持 ち 物】歩きやすい服装・靴、飲み物、雨具など

【対 象】どなたでも（7km程歩きます。小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】11月11日（火）定員10名先着順

イベントのお知らせ

大地を巡るリレー講演会

- 暴れ川・常願寺川の災害史を学ぶ -



どなたでもお聴きいただけます！

講師 富山県[立山博物館]館長 高野 靖彦 氏

日 時 令和7年11月22日（土）

9:30～11:00（受付9:15～）

会 場 富山県教育文化会館

越中の先人が残した生の記録から、当時の人々が未経験の自然災害をどのようにとらえ、どのように対応したのか。自然災害への向き合い方を知ること、防災・減災への意識を高める機会としましょう。

ご参加のお申込はこちら→



身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット

（富山県気候変動適応センター）

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>





直坂遺跡 (神通川エリア) — 神通川河岸段丘に営まれた古代遺跡 —

直坂遺跡は、神通川が神通峡を下り富山平野に抜ける神通川右岸の舟倉段丘南端に営まれた古代の集落跡です。1972年(昭和47年)の発掘調査で、旧石器時代及び縄文時代草創期・早期・中期にわたる各時期の遺物・遺構が出土しました。

旧石器時代の層からは約2万5千から3万年前の多数の石刃をはじめナイフ形石器(動物の皮や肉を切ったと考えられる道具)、彫器(骨や木に溝を彫るための工具)、局部磨製石斧などが出土しています。縄文時代の層からは、6棟の竪穴住居が検出されました。ここから出土した縄文中期の人面付き土器は、顔の表現が信州地域、土器本体の文様が北陸地域の特徴を持ち、両文化の融合を示しています。旧石器時代・縄文時代の生活や地域間交流の様子が分かる豊富な遺物・遺構の内容と重要性から、1981年(昭和56年)国の史跡に指定されました。

直坂遺跡は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い!

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

Natural Resource Keeping

自然を活かし、社会を支え続ける。

無害対策と環境保全に貢献

株式会社 ナリキ

本社 / 〒930-0916 富山県富山市南町1-15-54
TEL 076-451-7068 (PC) FAX 076-451-7009
URL: http://www.nariki.com/ E-mail: info@nariki.com

協会会員企業のご紹介

野外道具 雑貨



Cryptomeria japonica

<クリプトメリア ジャポニカ>



CRYPTOMERIA.JAPONICA2021

〒930-0253 中新川郡立山町大窪開23

TEL 076-482-6508 FAX 076-482-6509

〈編集後記〉

先日、富山大学で、異なる学部 of 3 年生が混成チームを組み、協働ワークショップを通じてまちづくりなどの課題解決を目指す「全学横断 PBL」という集中講義があり、協力団体の立場で参加してきました。

火山噴火の避難のために、景観と安全を両立するシェルターを作る課題では、巨大な泡の中に入ってみくりが池の水中に避難するというアイデアが発表され、若い方の柔軟な発想にとっても驚きました。ジオパーク活動の活性化にも若いみなさんの発想を活かせればいいなと思いつつ、来年も楽しみに、キャンパスを後にしました。

ジオパーク
だよりへの
ご意見などは
こちらへ!



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

